

INBASKET NEWS

トレンド情報 | 未来の予想 | 2018年6月1日



(写真：当社内での仕事風景)

【「定時に帰る」という手段が目的化していませんか？】

残業をさせないようにすることのほんとうの目的は何でしょうか？それは、時間の使い方を見直し、個人が望む人生の過ごし方をサポートすることです。つまり、早く帰るだけでは、改革にはつながらないのです。

そもそも「時間の使い方」について考えたことがありますか？全体感を把握しないまま、

目の前の事から片づけようとしていませんか？

とにかくやらなければいけないことを減らそうと、

簡単に片づけられるものからやっていますか？

いま目の前で起きている事の

先に起こりえるシチュエーションを想像できていますか？

そもそも、「期限」を意識できていないかたも多いのではないのでしょうか。まずは、逆算して計画を立てることから始めましょう。

インバスケット研究所

発行元：株式会社インバスケット研究所
カスタマーサポートグループ 唄 麻里絵
メール：houjin@inbasket.co.jp

『生き抜く力』を身に付ける、
学校教育に関わる勉強会をしています。

毎月一回、学校教育に携る方々と、「生き抜く力」を育てる教育方法についての勉強会を行なっています。インバスケット手法を用いた授業方法などを研究しています。

ガイドラインとして、以下の5つがポイントとなります。

1. 知識を身につけさせるツールではない
2. 生徒に考えさせるためのツールである
3. 生徒にアウトプットさせる
4. 生徒自らが気づくことに重点を置く
5. 生徒のアウトプットを否定してはいけない

次回開催は、6月30日(土) 14:00~17:00

@東京 (インバスケット研修センター / 当社東京本社)

@大阪 (堺市中区深井水池町 3152 1階 / 当社大阪本社)

※無料でご参加いただけますが、**こどもの教育に関わるかた**
(教員・塾勤務・教員を目指す大学生等)が対象となります



これまでの取り組みは
▼こちらから



【編集後記】 今月号は、時間の使い方が上手くなるには？というテーマを取り上げました。わたし自身、なかなか業務を時間内に収めることができず、悩むことが多いです。ただ、インバスケットを実施した結果、「自分はすべてをやろうとする傾向がある」ということを知っているため、「よし、他の人に頼めることは、頼んでしまおう！その人が困っているときには全力で協力しよう！」と割り切るようになりました。まだまだ道半ばですが、もっと極めていきたいです。皆さんも、一緒にいかがですか？

定期的に、インバスケットの体験会を実施しています！



(上：研修風景 右：使用教材の一部)



今回は、**札幌市内では初めて**となる“インバケット”手法を用いたビジネスシミュレーションゲームの無料体験会を開催いたします。

この体験会は、**企業や団体の人事担当者に向けて**、今の働き方を見直す必要性を感じることや、長時間労働の是正のために限られた時間の中で成果をあげる仕事への取り組み方、問題解決へのポイント発見方法などのノウハウを体感していただけます。働き方改革で何から手をつけてよいかわからない、というかたにおすすめです。

▼体験会の詳細



◀概要▶ 7月27日(金) 13:00~16:00 @TKP 札幌ビジネスセンター
北海道札幌市中央区北3条西3丁目1-44 ヒューリック札幌ビル



セミナーの効果を継続させるための勉強会「インバスケットの会」がリニューアルされ「まならぼ」に生まれ変わってから4回目の開催です！
ご参加者様からは、『参加回数別に色分けする取り組みは、グループ内の会話のきっかけにもなり、良いと思います』といったお声をいただいております。



【次回予告】7月21日(土) 14:00~17:00

テーマ：「巻き込みカアップ」

他者を巻き込み自分の思ったゴールに導く技術を学びます。

◎インバスケットの最新情報はこちらでGETできます◎

10月には、東京本社にて著名なゲストの方々をお迎えして「展示会」を開催します。そこで、初のこころみとして、当社で蓄積しているデータを用いた研究結果の発表を行います。

時間を意識して取り組む人と、そうでない人でどのような行動の差があるのか、モニタリングを行い、研究結果を発表します。モニタリングに参加したいというかたも募集しています。

詳細は、こちらのQRコードから！



◀概要▶ ※お申込みが開始されております※

日程：2018年10月2日(火)・3日(水)
会場：東京(タイム24ビル)18階
費用：無料 ※出入り自由

▼展示会の詳細



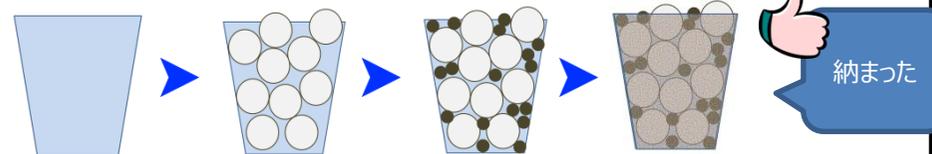
【一味違う 仕事の進め方】～逆算式考え方～

時間内に収まる！仕事の進め方には、3つのポイントがあります。

1. ”期限” から逆算して計画を立てる
2. 影響の大きい仕事から計画に盛り込む
3. 時間の”あそび(ゆとり)”を入れておく

特に、影響の大きい仕事から計画に盛り込むことができるかたの仕事の進め方とそうでないかたのイメージを見比べてみましょう。

☞影響の大きい仕事から取り組むかた



☞影響の少ない仕事から取り組むかた

